

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 4 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	入居者様の重度化から、共有スペースが職員の介護優先の空間作りになっている。	職員目線ではなく、利用者様が居心地がよいと感じることができる空間づくり。	利用者様からの希望や職員からの案を募集・話し合いを行い、利用者様と職員で共有スペースを作り上げていく。	6ヶ月
2	54	居室の空間作りが介護効率優先になっている居室が多くなっている。	利用者一人ひとりの生活を考え、馴染みのある落ち着いた空間づくり。	各利用者様が、どのような居室空間を望んでいるかを把握し、意思疎通が難しい利用者様に関しては家族の協力を仰ぎながら、一人ひとりが心地が良いと思える環境づくりを行う	3ヶ月
3	1	漠然とした理念となっており、職員間での共有が難しく、理念の実践が難しくなっている	グループホーム原市のケアの礎となり、新しいチーム体制になかで、押しつけられた理念でなく、職員が共有し、実践できる理念を作成する。	限られた職員間だけで決めるのではなく、職員全体で研修やグループワークを通じ新しい介護理念を作成する。	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。